

# 3年ぶり総会開催



同窓会報年2回発行、同窓生美術展の開催、晩登会奨学金の給付などの活動堅持を決めた総会

晩登会は8月11日、倉吉市内ホテルで総会を開き、向こう1年間の活動方針を決めました。コロナ禍のなか3年ぶりの開催。愛称の「晩登会」を名乗る

ようになってからは初めて。佐伯健二会長は「母校支援の気持ちを守る重要な総会」と挨拶しました。生徒数の減少によって財政

No. 55



# 晩登会報

鳥取中央育英高校同窓会報  
題字は山田美鈴氏(S58年卒)

2022年12月1日  
発行：同窓会編集委員会  
電話 0858-37-3211

## 克己

他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇氣を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。苟くも本校に就学する者は、緊禪一番、常に斯の氣を鼓舞振作することを要す。  
昭和丁丑秋日  
八十二翁  
晩登書

(創立者 豊田太蔵先生の遺訓による)

## 母校支援の時

同窓会長 佐伯健二



本部総会を3年ぶりに開催しました。役員改選など、

どうしても開催しなければならぬ案件があったのですが、それよりも、ここで開催しないと同窓会の絆が失われてしまう、という強い危機感がありました。出席者は本部と各支部役員

は厳しいが、年2回の同窓会報発行、同窓生美術展の開催、晩登会奨学金の給付などの活動は堅持することになりました。今回は入場制限をし、約50人が出席。前年度活動報告および決算、本年度活動計画および予算を原案通り決定しました。(総会の詳細は3面)

等に絞らざるを得ませんでした。出席希望の同窓生も多かったと推察しますが、事情をご理解いただきたいと思えます。

総会会場の正面看板「晩登会総会」は書家の同窓生山田美鈴さんによるものです。「晩登精神」をあらためて心に刻み、背筋が伸びました。

前回総会の出席者は2百人超の賑わいでした。入場制限を取っ払って、ワイワイガヤガヤ楽しめる日が一日も早く来ることを強く願っております。

## 令和5年度晩登会総会

令和5年8月11日、倉吉シティホテルで開催予定。担当幹事学年は、S59、H4、H12。

※新型コロナウイルス感染状況により変更の場合があります。



(S44、篠原重義)

わたしたちが高校生の頃は現在の北栄町役場の位置に校舎があり、国鉄山陰本線が緑ヶ丘の丘陵を切り通し、校舎とグラウンドを分断し走っていた。山陰本線にはまだ蒸気機関車が走っていて、それが吐く煙が風に乗って教室内に度々入ってきたものだ。特に3年生の時は教室が2階にあり、その頻度は多かった。風向きによっては黒い煙が教室に居座り板書が見にくいこともあり、しばしの休憩ともなった。当時教室の暖房はといえば小中高とも石炭ストーブであったから石炭を炊く煙の匂いは特段嫌な思いはなかったが、全国に数ある学校の中でこのような特異な情景が見られたところはそうそうなかったことだろう。この情景は今でも鮮明に残っていて懐かしい。

いくえい  
を歩く

懐かしの  
情景

# 母校の運営について

## 檜新学校長インタビュー



今春、倉吉東高等学校より檜佳憲（ひのき・よしのり）新校長が転勤してこられました。2年連続で定員割れとなった鳥取中央育英高の今の状況を踏まえて、どのような学校にしていけるのか抱負を伺いました。  
（前田永宣編集長）

プロフィールをお聞かせください。

東部地区で3校、中部地区で勤務して現在にいたります。教科は地歴公民です。部活動顧問の経験は、硬式テニス部、硬式野球部。硬式野球では、鳥取県高等学校野球連盟の理事長・副理事長を経験しました。運動競技にとっても興味があり、以前は硬式テニスを生徒と一緒にやっていましたが、現在は自分でプレーすることはなくなり、高校野球を中心に観戦して楽しんでいきます。  
あらためて鳥取中央育英高の感想をお願いします。  
6年ぶりの勤務になります。基本的にはあまり変化していないように思います。教職員が生徒一人

一人に寄り添って指導しています。挨拶、服装等の生活指導の面、授業や進路実現のための学習面、運動部・文化部等のあらゆる部活動を通して、競技・発表・作品の結果のみならず、礼儀・挨拶等、部活動を通しての生徒の成長を促すような指導を行っています。生徒達は、落ち着いた中で学習し、自分の進路目標に向かって努力しています。部活動では、国際大会、全国大会に出場するなど素晴らしい結果を残していますし、地域の活動に参加し、音楽や書道の発表をしています。教職員・生徒が一体となって学校づくりを行っていると思います。

これからの抱負をお聞かせください。

コロナ感染が広がる中、生徒・教職員の健康を第一に考えます。生徒一人一人が自分を大切にしていってほしいと思っています。そして、自分を大切にするためには、他の人に対しても大切にしていってほしいと思います。人から傷つけられた自分を大切にすることはできません。互いに尊重し、日々の生活を送ってほしいと思います。さらに学習習慣と基礎学力の定着をはかっていきたいと思っています。進路目標が不明確な生徒に対して、自分がどうなりたいたいののか、

## 学習習慣と基礎学力の定着 伝えたい本校の特色・魅力

それに向かつて何をすべきかを一緒に考えていきたいです。教職員が生徒の良さを見つけ、生徒に気付かせて考えていくことも行いたいと思います。目標に向かつて学習し、自分の目標をつかんでほしいと思います。

昨年と今年、連続で定員割れとなつたが、どのように受け止められておられますか。

本校の特色・魅力が、中学生・保護者、地域に十分に伝わっていないのではと考えます。本校のすばらしさを発信し、より多くの生徒に選んでもらえる学校にしなければと思つています。それには、

学校自らが考えることは勿論ですが、本校をしつかりと見守っていただいている方々（近隣の中学校、学校周辺の地域の方々、同窓生の皆様）のご意見をいただきながら、本校の素晴らしいところをお伝えしていかなければと思つています。

この状況を踏まえて、どのような特色や魅力を持つ鳥取中央育英高に行かれますか。

そこで伝えていきたい本校の特色は以下のようなことだと思います。

1つは、「進路選択が多様である」ということです。すでに高校

進学時に将来の方向性を決定して進学する生徒が多いと思います。しかし、社会が複雑化し、生徒の進路目標が明確に定まらないままに高校進学をする生徒もありません。そこで本校は、高校生活を通して、将来の夢を考えていく生徒に対して、明確に目標設定できる進路指導を行っていきたいと思つています。

大学・短大・専門学校への進学や就職に対して、大学見学や職場見学を実施することを通して考えさせることや、人としての生き方講演会の実施等を行い、自分自身があくなつていきたくのかの見通

しを明確にもたせられるような指導を行っていきたいと思つています。2つ目は「学業と部活の両立」です。ずっと言い続けられていることですが、再度徹底しようと思つています。学校の活動は、授業やホームルーム活動等教室での活動を中心に学べることで、部活動のように、教室以外に他校生徒との交流等で学べることもあると思つています。両方のバランスをうまくとりながら、あらゆる学校の活動を行っていくことが自己を成長させる。このことを再度確認し、その環境が本校には整っていることを伝えていきたいと思つています。

3つ目は「地域連携」です。「地域探究の時間」を通して、地元の講師の皆様にお世話になつており、地域の魅力や問題点を学んでいます。この経験を今後自分達が生活していく場面で起こる問題解決に生かす。その力を身に付けさせたいと思つています。

さらに、北栄町、琴浦町と連携をとりながら、学校の活動範囲を広げていきたいと思つています。大学・短大との連携、さらに地域探究を進めていくための取り組みについて話し合いを行い、生徒たちが地域を愛し、この地域を支えてくれる人材育成を行っていきたいと思つています。

高校生活は、自分自身を成長させる時であると考えます。「克己」の精神に基づき、自己成長を実現できる学校であるようにしていきたいと思つています。

高校生活は、自分自身を成長させる時であると考えます。「克己」の精神に基づき、自己成長を実現できる学校であるようにしていきたいと思つています。

### 支部総会の補助金減額

令和4年度予算の内容は次の通りです。  
 予算収入(約520万円)の主な内訳は、繰越金約230万円、同窓会活動協力金180万円、卒業する生徒の入会金約110万円。  
 支出は、同窓会報発行50万円、同窓会職員賃金40万円、支部育成強化39万円、卒業生へ贈る入会記念品29万円、美術展20万円、奨学金20万円、総会開催15万円など。  
 財政難のため支部総会などへの補助金(出席1人当たり)を1,500円から1,000円へ減額することになりました。



総会の冒頭あいさつする佐伯会長

### 新役員

役員改選は、会長はじめほとんどが留任。飯田正征副会長が退任、代わって津川俊仁さん(昭和52年卒、北栄町)が新任されました。任期2年。

- 会長 佐伯 健二 S44卒(再)
- 会長代行 町田 貴子 S44卒(再)
- 副会長 篠原 重義 S44卒(再)
- 〃 前田 永宣 S44卒(再)
- 〃 黒松 悟司 S47卒(再)
- 〃 飯田 綾子 S49卒(再)
- 〃 津川 俊仁 S52卒(新)
- 〃 藤原 静香 S53卒(再)
- 〃 田中 安典 H5卒(再)
- 監事 山下 善正 S44卒(再)
- 〃 西村 敦郎 S53卒(再)
- 顧問 檜 佳憲 学校長(新)
- 〃 横山 隆義 S38卒(再)
- 〃 盛山 明 S44卒(再)

### 令和4年度事業計画

同窓会報No.55発行(11月1日)▽同窓会入会式(2月28日、学校)▽同窓会報No.56発行(4月1日)▽晩登会奨学金選考委員会・贈呈式(4月下旬)▽第8回同窓生美術展(7月上旬、豊田記念会館)▽同窓会総会(8月11日、倉吉シティホテル)



講演する河崎さん

河崎積さんが記念講演  
 総会後は、北栄町立「青山剛昌ふるさと館」館長の河崎積さん(昭和51年卒)に「マンガを活かした地域活性化」と題して記念講演をしていただきました。その後、約30人が懇親会を楽しみました。

### 令和3年度 同窓会一般会計決算書

収入				単位(円)
科目	予算額	決算額	増減	摘要
入会金	1,425,600	1,425,600	0	9,900円×144名
繰越金	1,727,373	1,727,373	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	特別会計より繰入
同窓会協力金	1,800,000	1,390,184	△409,816	同窓会協力金 R3年度新規分(一口2,000円-振込手数料) 同窓生美術展協力金 第6回分19,000-振込手数料 第7回分20,000-振込手数料
作品展協力金	30,000	13,000	△17,000	現金受付分のみ
雑収入	10	3,012	3,002	預金利息、前年度奨励費返金(出場辞退分)
合計	4,982,983	4,559,169	△423,814	
支出				
科目	予算額	決算額	増減	摘要
事務費	1,300,000	1,495,983	195,983	事務用PC、通信費、振込手数料、会報、事務補助賃金、美術展開催経費(11月、7月年2回開催)他
会議費	563,000	86,853	△476,147	役員会等
旅費	180,000	0	△180,000	支部総会出席旅費
渉外費	110,000	0	△110,000	支部総会会長土産代、祝電・弔電
支部育成強化費	540,000	0	△540,000	
入会記念品費	320,000	259,776	△60,224	新聞縮刷版(同窓会報、PTA会報、鳥取育英高新聞)
学校活動援助費	90,000	49,500	△40,500	野球大会・全国大会等奨励広告代
奨励費	150,000	194,000	44,000	全国大会等出場生徒奨励
奨学費繰出金	200,000	200,000	0	
予備費	1,529,983	2,273,057	743,074	次年度繰越金
合計	4,982,983	4,559,169	△423,814	

\*会計年度 令和3年8月の総会から次年度総会まで

### 令和4年度 同窓会一般会計予算書

収入				単位(円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘要
入会金	1,089,000	1,425,600	△336,600	9,900円×110名
繰越金	2,273,057	1,727,373	545,684	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	特別会計からの繰入(令和4年度はなし)
同窓会協力金	1,800,000	1,800,000	0	一口2,000円以上
作品展協力金	30,000	30,000	0	一口1,000円
雑収入	10	10	0	預金利息
合計	5,192,067	4,982,983	209,084	
支出				
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘要
事務費	1,400,000	1,300,000	100,000	同窓会報 500,000円 (@90×2,500部×1.1)×2回 賃金 400,000円 @1,000×7.5h+通勤手当年間50日 美術展 200,000円 通信費 250,000円 消耗品等 50,000円 総会 150,000円 会場費・講師謝金等 80,000円 懇親会参加補助 @1,000×70人 70,000円 役員会等茶菓代 30,000円 役員懇親会 40,000円 @1,000×20×2回 学年理事会等 30,000円 @1,000×30×1回 反省会等 20,000円 @1,000×20 同窓会報発送作業員食弁代 12,000円 @600×20×2回
旅費	142,000	180,000	△38,000	県外支部総会等出席旅費 関東@55,000×2 関西@16,000×2
渉外費	80,000	110,000	△30,000	会長等渉外諸費
支部育成強化費	390,000	540,000	△150,000	支部総会補助 支部謝10,000円(支部出席割@1,000×300人)
入会記念品費	290,000	320,000	△30,000	新聞縮刷版
学校活動援助費	90,000	90,000	0	野球大会・全国等奨励広告代
奨励費	150,000	150,000	0	全国大会等出場生徒への奨励他
奨学費繰出金	200,000	200,000	0	奨学金特別会計へ繰出
計	3,024,000	3,453,000	△429,000	
予備費	2,168,067	1,529,983	638,084	翌年度繰越資金
合計	5,192,067	4,982,983	209,084	

\*会計年度 令和4年8月の総会から次年度総会まで \*予算の状況により科目流用を認める。

# 3年ぶりに支部総会を開催 角盤会

会長 木村由紀雄



角盤会(同窓会関東支部)は10月22日(土)に東京四ツ谷・

主婦会館で3年振りに総会を開くことができた。10月に開くのは初めて(これまでは6月に開催)、総会の案内状発送は9月という異例続きに会員の皆さんも驚かれたと思う。

もちろん、このような事態になったのは偏に新型コロナウイルスのせいである。年初来、コロナの動きに翻弄された。毎日、コロナ感染の動向、世の中の動き(イベントの開催状況、開催に際して要求される順守事項など)を睨みながら、開催か否か、開催するとすれば時期はいつか、幹事会はいつ頃開けばよいか、等々。毎日がユウウツであった。

## 本部に続けと決断

2月にかけ全国の感染者数が急増気配となり、3月幹事会、6月総会は早々に諦めた。しかし、5月連休頃には感染が落ち着き、スポーツ、イベントなども正常化してきたようだった。6月に入って同窓会本部が3年ぶりに8月に総会を開く意向で

あることを知り、角盤会も本部総会に続いて秋に総会を開催しようとした。6月末に幹事会を開き、10月1日開催を決めたが、多くの角盤会幹事とは丸3年ぶりの再会であった。

しかし、真夏に向かつてコロナ感染がまたも急増の様相となり、そこで、8月に総会開催を3週間延期し、10月22日とする。総会幹事の了解を得た。総会案内状を出さなければならぬ時期が来て、感染者数は高水準であり、案内文をどう書くか、迷い続けた。会場には人数制限はないようだが、食事の形式や方法で、何らかの制約があるようだった。

そんなことを案内状に書けば、出席しようという人がビビってしまうのではないかと。結局、案内状では総会当日はマスク着用が望ましい、という状況が続いているでしょう、といった表現に止めた。

私は、支部総会が本部総会とは性格が異なると考えている。支部総会と同じ地域・地方に住む同窓生(卒業年の異なる)が一堂に会して懇親を深める、あるいはこれまで互いに知らなかった同窓生が出会う場だと思う。さらにいえば、角盤会=関東支部は、遠く故郷を離れ、周

りはほとんど見知らぬ人ばかり、というつらい環境下でそれぞれ人生と格闘してきた同窓生の集まりなのである。

再開角盤会の出席者は30名(当日欠席があり、実際は25名出席)、前回の総会よりも半分以下というさびしさであった



3年ぶりの角盤会総会に集まった同窓生(東京・四ツ谷)

年長の出席者に依頼する乾杯の音頭を心よく引き受けてくださった。ビールグラスを掲げながら、戦時中であつた旧制育英中学時代のきびしい学生生活を振り返られ、平和への熱い思いを語られた。われわれは先輩の思いを受け継いでいかなければならないと思う。

## 不要だった懸念

私は出席者が少なかったため、会の雰囲気は沈んだものになってしまふのではないかと危惧していた。食事もいつものバイキング方式ではあつたが、パーティションで区切られたテーブルでの黙食が指示され、隣りになった人としか話せないように思われた。

慣例的なわれわれ役員、幹事の報告が終わつて飲食の時間になってみると、私の懸念は不要であることがすぐにわかつた。みなさんがいろいろ工夫して隣さんだけでなく、多くの人と食べて飲んでしゃべつておられるようで、あちこちから

笑い声が聞こえてくるのである。やはり、学年は違つても同じ学び舎で学んだという共通体験が目には見えないカベをあっという間に取り外してしまうのだろうか? 飲食が一段落して「余興その他」の時間になると、なごやな

空気が熱気を帯びてきたようだった。余興やスピーチを求めると、次々と手が挙がるのである。福嶋さん(S34)、竹内さん(S44)は、現在の生活ともにある歌を披露、次いで、米村さん(S36年)、熊本さん(S46)、塗野さん(S46)、穂山さん(S51)が母校の思い出や母校への思い、あるいは現在の生活を通じて同窓のみなさんに訴えたいことを熱っぽく語られた。熊本さんは宮城県で僧職にあるが、新幹線で仙台から駆けつけていただいたのである。

## 「開催してよかった!」

予定時間はあつという間に過ぎてしまった。この盛り上がり、やはり再開してよかったと思つた。出席していただいたみなさんには、心からお礼申し上げます。別れ際に何人かの人にまた次もやろうと声をかけられた時は、本当にうれしかった。ここまですりつめたのは、幹事のみなさんの協力のおかげであると、心から感謝している。

ところで、コロナ第7波は今も感染高止まりで、来年は第8波がやってくるという観測がしきりである。結果論ではあるが、10月に開催したのは感染の中休み状態をうまく利用したということかもしれない。来年のことになると、今は全く頭が回らないのが正直なところである。

### 緑ヶ丘の雰囲気大好き



石原 端子  
(沖繩・那覇市)  
数年前、「べんとう」をいた

だき読んだ。そこで初めて、豊田太蔵の存在、由良育英高と校訓「克己」の歴史を知った。

勉強もスポーツもやるぜ！という緑ヶ丘の明るい雰囲気が大好きだった。実際は、そんな器用な人間はおらず、私たちのクラスは、間違いなく勉強しないお荷物クラスであった。

ところが、部活動を終え勉強モードに切り替わると、皆ぐんぐん成績を上げ先生方をとても驚かせた。なめんなよ！の小さなガッツポーズであった(笑)。

太蔵が希望したとおり、自由な風土でたくましく育った尊敬するクラスメイトの多くは、故郷にすっかり根を張り地元で貢献している。

### チャレンジ

松本 善樹  
(湯梨浜町)

私事ですが、12年前に父を見送ったことをきっかけに週末農業といいますが、兼業稲作農家を営んでいます。

すべてを一人でやるようになって初めて作業を行うタイミング、判断の仕方、作業手順・方法など一つ一つの工程を自分は今分かっていなかったと痛感しました。



生業との掛け持ちです。重労働であつても今日のうちに仕上げなければならぬ作業も生じることがあります。放り投げられるわけにもいかず、取り掛かる前はうんざりする気持ちで作業を始めることもありすが、それでも少しずつこなして、やがて終わりにたどり着く。

そんな事を何度も繰り返していく内に、「しんどい面倒なことでも少しずつやっていけば、やがてはゴールにたどり着く」ということを改めて感じるようになりました。そしてその経験は、生業に反映され、仕事の充実に通じることになりました。

いくつになっても新しい経験を積むことで、自分が成長していく感覚を続けることは、生活の充実にとっても大切なものだと思います。

育英同窓生の皆さんには当たり前のこととして、日々実践されていることとは思いますが、

これからも「新しいことへのチャレンジ」を自分に課しつつ生活を送っていき、そのことが他者を支える事につながっていくらと思っています。

### 山登りで身体づくり

坂根 久美  
(倉吉市)

E組らしからぬ運動神経を持つ私は、クラスメイトたちが皆、憧れの対象でした。

特に苦手な長距離走で救急搬送された昔の経験もあつて、走

<b>人物風土記</b> (10)
S 59
由良育英の巻
※今回のまとめ: 堀尾昌志氏

れる人たちはそれだけで尊敬。都大路の応援も嬉しくて、ひとり行動して複数の区間を巡り、迷子になったのも今となれば楽しい？ 思い出です。



それがここ数年、職場やPTAで「自分、走ってるんですよ」と誇らしげな人に複数お会

いすることが重なり、自身の衰えとかグズグズ考えた挙句、なんと「私、走ってるんです」：語れるような記録は何もありませんし、コロナ禍で大会とも遠ざかっておりますが、今は山登りしながら身体作りに励んでいます。

### 道後温泉への旅

前田 修志  
(北栄町)



この10月に時間があったので道後温泉に行ってきました。

本館はあと2年半の間修理中ですが部分的には入れます。そして普段は行かない椿の湯と飛鳥の湯にも行ってみました。それぞれに個性があつて楽しかったです。

次の日は遊子水荷浦の段畑へ車を走らせました。江戸時代に作られたという段畑は絶壁の斜面にあり、石垣でできた幅1坪の等高線といった感じ。そしてこの段畑がいまだに現役で栽培され続けている事は二重の驚きでした。

さて宣伝を。我が前田農園では10年前からご飯のおともを製造販売しています。地元で丁寧につくられた一品を贈り物にいかがでしょうか？ みなさまどうぞよろしくお願いたします。

ホームページ  
<http://maefam.com>

### 「角盤山」を甲子園で

飯田 保英  
(北栄町)

卒業して38年、振り返ると授業はほぼ部活のための休養でした。野球部では鬼のイトカン(本当はいい人)がまだ20代で、何かが起こる(今だと出場停止?)「集合や」という言葉にビビっていた高校時代でした。そして数十年振りに「集合や」があり、それは元球児の夢マスターズ甲子園への参加でした。



我が育英OBは何とか2度目の挑戦で憧れの甲子園出場を果たしました。甲子園の土を踏みしめた時の感動は今も忘れません。

しかし残念ながら現役の甲子園はまだありません。近い将来必ず出場してもらいたい。そして育英中、由良育英、鳥取中央育英と校名が変われど、歌い継がれている「角盤山」を甲子園のアルプスで、みんなで歌いたい。これが私の願いです。

### 語り継ぐことの大切さ

ロシアをはじめ世界が混迷を深める中、我が国では77年間も戦争のない平和な時代が続いている。その大きな力となったのは、あの戦争を生き抜いてきた人たちの「もう戦争はしない」という強い意志であった。

私の父は、最前線のスマトラ島で石油を確保しながら、母はゼロ戦の翼の製造に励みながら終戦を迎えた。その母は、大山口駅での空襲で実弟を亡くしているのだが、最後まで私たちにそれを話すことはなかった。

彼らの体験が日本の復興を支え、平和な時代を築いてきたことは間違いない。だが、その貴重な体験を次の世代にきちんと伝えることには、極めて慎重であった。父母らが

あの時代を生き抜いていくためには、悲惨な過去を忘れ、前を向くしかなかったであろう。

今、ふと気づけば、彼らの姿を見かけることはなく、生の体験を聞く機会もほとんどなくなってしまう。私は、「大山口列車空襲被災者の会」でこの事件に出会い、伝えることの大切さを知ると、少しずつ語り継ぐようになっていた。



金田吉人 (S42)

近年のコロナの感染拡大により、県境を越えることが制限されると、修学旅行の小学生を中心に大山口を訪れる人が急増し大変驚いている。

戦争の真実、平和の尊さを知ることが、平和な世を築いていく大きな力となることを信じ、今日も語り継いでいる。  
(西部支部)

## 西から東から、会員は今

### 部活動経験のお陰で



前田清美 (S63)

私は、高校3年間を振り返って思い出すのは、部活動です。強い部ではなかったのですが、毎日放課後に体育館へ行き、先輩方をはじめ、同級生や後輩たちと楽しく部活が出来たことが、今でも学校生活の中で一番頑張ったな！と、良き思い出となっています。

その時の先輩・後輩との関係

や、チームで協力して練習をするといった経験が、いま仕事をしていたり自身の助けになったと思います。

現在、実家の事業を手伝っています。が、いろんな年代の従業員さんたちと楽しく話をしたりしてコミュニケーションがとれるようになったのも、部活動経験のお陰かなと思います。

今、高校へ通っている生徒さんたちも、3年間の間にどんな小さな事でも、自分は頑張ってきたということがあったら、今後社会人になった時に、自身の励みになると思います。  
(東伯支部)

### 母校の思い出



田中浩一 (S56)

由良育英には昭和53年に入学しました。翌年、新校舎に引越すまで、年季が入った木造校舎の夏は暑く、冬は寒かったです。隔世の感がありますが、冬は石油ストーブで暖を取っていました。

1年某クラスはボヤ騒ぎを起こしてしまい、火災報知器を発報したのですが、ボヤだと当分の間灯油の供給が停止されるルールになっていたので、誤発報と偽っ

ていましたね(もはや時効)。

売店のおじさんはまったく愛想がなくて、買い物をして袋をくださいって言ったら、ポイって放られたことがありましたね。でも、ものまねの対象になり、一部ではなぜか人気があったんですよ。

お昼に大型のやかんで温かいお茶を用意してくれるおばさんは、当番がきちんと洗って返さないと、昨日のやかんをそのまま出していました。厳しかったですね。

でも、新校舎より旧校舎の思い出の方が印象深いです。高校生活がスタートした場所だからだと思います。懐かしいです。  
(関東支部)

### 甲子園で母校を応援したい!



陰山 恵 (S63)

今年53才になりました。育英を卒業して35年の時が過ぎ大学、社会人生活と、あつという間にビール腹のオジサンになりました。

現在は大阪でサラリーマン生活の最終の仕上げに差し掛かり昼夜仕事に没頭しております(とは言っても酒やゴルフ専門ですが)。

高校時代は野球部に所属し「悲願の甲子園」を目指して練習しましたが出場する事は叶わず、愛知県の大で1学年先輩と一緒に厳しい練習、寮生活にと4年間を過ごし甲斐あって大学野球の「甲子園」明治神宮野球大会に出場する事が出来ました。グラウンドに立ち、出身高校(由良育英)をアナウンスされた時は嬉しかったものです。それも高校時代の個性の強い(笑)！恩師の皆様御指導のおかげであります。社会人になり転勤族として現在10回の転勤を経験し、仕事上でも全国各地で由良育英OBの偉大な先輩方とお会いし指導を仰いでおります。そんな皆さんと一緒に母校の姿を「甲子園」で早く見たい!!と願いながら育英の名に恥じぬよう公私ともに頑張りたいと思います。  
(関西支部、大阪府枚方市)

### 介護事業を取り組んで



田熊博文 (S44)

介護事業を創業し19年、前職31年間の銀行職を早期退職し、身内の介護のきっかけから介護事業へ参入しました。

銀行職を通じて中部一円で仕事をしていた関係から人との繋がりがあり、不安なく入り込めた。

この頃、国の取り組みで市町村合併が盛んに行われ、鳥取県内も鳥取市、米子市はより大きな市へと拡張しました。県中部地域も一つになり10万都市にならなければ発展はない気運が盛り上がり、ほぼ90%合併が進んでいました。ところが一部の反対から壊れてしまった部分合併にとどまり、現在の1市4町の姿となりました。



特別養護老人ホームあずま園(湯梨浜町)

介護事業を創業するに、法人名、施設名はどうするか、悪戦苦闘しました。その結果、まず法人格は組織のグレードを高めるため、社会福祉法人の認可を取得しました。

法人名は、福祉の面から「中部は一つ」を願い、社会福祉法人「中部福祉会」と命名。法人のロゴマークも、中部は一つを願う椿の花を使用しました。椿は倉吉市のシンボルの花です。倉吉市が兄弟分となり一市四町をまとめてほしい。中部は一つの願いを託しています。

施設名は「あずま園」としました。これは私の出身地である北栄町東園(ひがしぞの)を訳して命名しています。

私どもの施設は現在、北栄、湯梨浜、倉吉に9施設、職員約180名の規模の事業所です。この度、令和4年8月、湯梨浜町に「特別養護老人ホームあずま園」を開設しました。

私のモットーは「フェイス トウ フェイス」。人から人。IT化時代とはいえ、社会の原点は人から人、人との繋がりを大切にしたい。

職場環境も、法人理念の一番に「働きやすい楽しい職場を目指す」を掲げ取り組んでいます。あずま園で働いてみたい方、お待ちしています。また利用者様も楽しく安らげるあずま園です。ご利用の程お待ちしております。

(北栄町東園)

## 会員は今、西から東から

### 出会いを大切に!



田中康雄 (H5)

中学3年生の時、赤碕高校陸上部顧問だった横山尚登先生から「赤碕高校でインターハイを目指さないか」とお誘いをいただき、由良育英高校を希望していた私は、迷いに迷い願書提出締め切り直前で赤碕高校への進学を決めました。

た。

個人の成績としては4百円ハードルで中国大会決勝まで進みましたが、インターハイには出場できませんでした。しかし、陸上部での経験がその後の人生に役立っていると思っています。

高校卒業後は、家庭の事情もあって大学進学は断念、倉吉信用金庫に就職することになりました。信用金庫では、無我夢中で12年間勤務しましたが、思いがけず転職の転職が訪れ、医療機関に勤めるこ

とになりました。現在は谷口病院の事務部長として地域医療への貢献を目指して頑張っています。

金融機関も医療機関も日々の生活や命を守るという大切な役割を担っています。現職では、病院経営に参画し、思いやりの心で良質な医療を提供できるように日々奮闘しています。

私は、重要な転職でいつもいい出会いをいただけて来たと感じています。これからも一つひとつの出会いを大切にしていきたいと思っています。

(倉吉支部)

### 今気づくこと



齋尾智弘 (S49)

気がつけば卒業して半世紀が経過していた。この間自身の生き方を模索しながら生きてきていたように思う。行き着いた結論は「他人の不幸の上に自分の幸福を築かない」ということであり、事あるごとに自分に言い聞かせながら生きていく。

育英高時代、3年生の時の担任は土井清澄先生でした。

私は野球部に所属していたので、練習に疲れ果ててよく授業中に寝ていたが、土井先生はにこにこしながら、「疲れたら少しは寝た方がすっきりして集中できる」とおっしゃっていた。その言葉にいつも甘えていたものである。卒業式の日、式典終了後先生のご自宅に大勢で遊びに行った。何をしたか覚えていないが、暗くなっても帰らなかった記憶がある。育英高には大きなバイクで通勤されていたと思ひ出した。その恩師も鬼籍に入られたと数年前にお聞きした。残念である。成績はさっぱりだったが、

野球は熱心に3年間やり通した。先輩に会うと、町中であろうと何処であろうと、大きな声で「こんにちば」と挨拶させられた。歌会と称して部員の前で歌を歌わせられた。文化祭があると、1年生部員は全員舞台で歌を歌うようにと指示が来た。これらはすべて試合で緊張しないための訓練であったと後で知った。当時は気がつかなかつたが、育英高校時代に、自分自身の根っこの部分を作ったと感謝している。

(大栄支部 北栄町議会副議長)

# 今春着任の先生等を紹介しています

①教科・役職 ②部活 ③育英高校に着任して感じたこと (敬称略)



**榎 佳憲**  
①校長 ③毎朝生徒玄関前に出て挨拶をしています。

います。以前より少し元気がないように思いましたが、日に日に挨拶の声や会釈する姿が増えていくと、6年前にいた頃と同じだなと思います。安心して生活し、学業や部活に頑張ることが出来る学校にしていきたいと思っています。生徒が主役の学校にしたいと思っています。



**木村 彰志**  
①教頭 ③18年ぶりに育英高校に勤務することになりました。

選択教室棟や新体育館、ソフトボール場の防球ネットなど、以前より施設・設備が充実していると感じました。また、以前同様、生徒の皆さんが元気に挨拶してくれるのがうれしいです。「克己」の精神を培い、生徒の皆さんが輝けるよう努力していきたいと思



**桑本 秀一**  
①理科 ②バスケットボール ③育英にやっ

きて、半年が過ぎました。生徒の皆さんに元気をもらっています。勉強に部活動に自分の目標に向かって頑張る皆さんの手助けができるようになりたいと思います。私もそんな生徒たちに負けないよう、いろいろなことに挑戦していきたいと思



**田中 稔也**  
①数学 ②バドミントン ③育英に赴任して

半年ほど経ちました。校地内には多くの植物があり、春には桜、夏には青々とした木々が姿を見せてくれ、季節の移り変わりを日々感じる事ができます。自然豊かな環境の中で、授業や学校行事に一生懸命取り組む生徒の皆さんの成長も感じています。これからも生徒の皆さんと一緒に学び、私もまた成長していけたらと思っています。



**田中 浩之**  
①理科 ②山岳 ③前回は由良育英5年と新

高校である鳥取中央育英6年の計11年勤務させていただきました。校訓「克己」の精神のもと、生徒の皆さんの夢実現が叶うよう教育活動に取り組みたいと思



**谷口 真未**  
①英語 ②茶道・華道 ③鳥取中央育英高校

に着任して半年、感じていることは個々の生徒が持っている力強さです。学業、部活動、学校行事など、様々な面で生徒が各々の力を発揮して挑戦したり活躍したりしている姿を多く見かけます。今後も生徒が自信を持って輝けるよう精一杯サポートしてまいりますので、よろしく



**浪花めぐみ**  
①地公 ②音楽 ③明るく素直な育英生。そ

の素朴さは素敵です。一方でもともと自身にプライドを持ってほしいとも感じます。勉強でも部活動でも「自分はこういう人でありたい(なりたい)」という信念をもってほしい。そ

プライドを持って仕事に向き合いたいと思います。よろしくお願



**藤原 亮**  
①国語 ②新聞 ③育英の生徒

素直だと思えます。感情を素直に表現できる力は今の自分には無いものです。この学校に来て、自分の教育者としての在り方を考えることが多くなりました。生徒と同じ目線を持つて様々な考え方に触れ、進路実現に少しでも寄り添えたらと思



**牧田 敬五**  
①地公 ②ソフトテニス ③統合前の由良育

英、赤碕に勤務していました。十数年ぶりにこちらの校舎に赴任することになり、懐かしさと同時に生徒数の減少で少しさびしさを感じています。未知の可能性を秘めた生徒がたくさんおり、それをどのように引き出し、どのように伸ばしていくかを毎日考えています。そんな生徒たちとともに、日々歩みを進めたいと思



**長岡 賢**  
①国語 ②新聞 ③着任して最初に出会った

えたい夢がある」でした。この言葉の通り、育英高校の生徒の進みたい道・叶えたい夢は本当に多様であると実感しています。「克己」の精神のもと、志と自らを律する心を持ち、夢の実現に向けて研鑽を積む生徒の皆さんを支えることができました。と思



**木村 洋介**  
①数学 ②陸上 ③2年ぶりに育英高校に

戻ってきました。1年生だった生徒も3年生になり、部活や育英祭では中心となって活躍しており、頼もしく成長した姿をみる事が出来て、とても嬉しく思っています。私自身も生徒に負けないように育英高校でも成長していきたいと思



**前田 健二**  
①数学 ②バスケットボール ③育英の生徒は

とても素直で勉強や部活動、趣味(自分の好きなこと)に一生懸命だなと感じております。個性豊かな生徒に囲まれて私が刺激を貰う日々です。豊かな緑や充実した施設のある環境ですらに豊かに成長できるよう、そしてエネルギーギッシュな高校生活の満足度がさらに高まるようサポートできたらと思

# 第7回同窓生美術展開催

7/1~7/7  
豊田記念会館



第1展示室の正面に展示された明石さんの作品



多くのボランティア同窓生が受付役を買って出た



授業で鑑賞に訪れた大栄中学の生徒たち



お気に入りの作品かな



会場を飾る秀作の数々。今回は工芸作品が多く出品された(左、下)



豊田太蔵先生の資料室も見学



明石諭さん(S35)は同窓生の一人として、育英同窓生美術展に出品を続けてきた。そのつど、明石さんの人となり作品化された写真が会場を飾った。今回、それらの作品と教員としての生き

様を物語る特別展示コーナーを設けて来場者に遺産を偲んでいただいた。

## 特別展示「明石諭さん遺作展」に思うこと

鳥取大学の教育課程で共に学んだという米子市在住の男性は、明石さんの作品を巡りながら、その後の半世紀にわたる2人の交流を語り続けた。

私は育英同窓生美術展の意義を再認識しながら、心の温まるひとときを過ごした。この美術展がより広い輪になって繋がっていくことを願いながら。

(鳥取中央育英同窓生美術展実行委員・南場兄一)

令和4年度部活 (4~11月)

(掲載は県大会・中国大会入賞・全国大会出場等)

陸上部

□全山陰

◇男子

▽100m=①植松瑞希▽200m=①植松瑞希▽400m=②井上詞倭▽4×100mR=①(諸遊、植松、井上、谷本)▽4×400mR=②(山本、石川、岡田、井上詞)

◇女子

▽100m=①亀山うらら③佐々木真歩▽100mH=①福嶋ひなた▽4×100mR=①(野津、福嶋、佐々木、亀山)

□県選手権

◇男子

▽200m=②植松瑞希▽4×100mR=①(諸遊、植松、井上詞、谷本)▽4×400mR=①(佐藤、石川、岡田、井上詞)

◇女子

▽100m=①亀山うらら③佐々木真歩▽200m=①佐々木真歩▽100mH=①福嶋ひなた▽4×100mR=①(野津、福嶋、佐々木、亀山)

□県高校総体

◇男子

▽100m=①植松瑞希▽200m=①植松瑞希▽400m=②井上詞倭③岡田智哉▽4×100mR=①(諸遊、植松、井上詞、谷本)▽4×400mR=①(佐藤、石川、岡田、井上詞)=大会新

◇女子

▽100m=①亀山うらら▽100mH=①福嶋ひなた▽4×100mR=①(野津、福嶋、佐々木、亀山)=山陰新

□中国高校選手権

◇男子

▽100m=①植松瑞希▽200m=①植松瑞希▽4×100mR=①(川本玲央、植松瑞希、井上詞倭、谷本海)▽4×400mR=①(岡田智哉、石川遥斗、植松瑞希、井上詞倭)

◇女子

▽4×100mR=②(野津、福嶋、佐々木、亀山)

□全国高校総体

◇男子

▽100m=植松瑞希(出場)▽200m=植松瑞希(準決勝進出)▽4×100mR=(川本、植松、井上詞、谷本)準決勝進出▽4×400mR=(岡田、石川、佐藤、井上詞)出場

◇女子

▽100m=亀山うらら(出場)▽4×100mR=(野津、福嶋、佐々木、亀山)出場

□県新人

◇男子

▽200m=②井上詞倭▽400m=①井上詞倭



▲中国大会で男子400mリレー-3連覇(日本海新聞)



▶とちぎ国体惜しくも準決勝で敗退(日本海新聞)



▲夏の大会1回戦、猛攻15点で勝利(日本海新聞)

□中国高校新人選手権

◇男子 ▽400m=③井上詞倭

□栃木国体

◇男子 ▽100m=植松瑞希(出場)

◇女子

▽100m=佐々木真歩(準決勝進出)▽100mH=福嶋ひなた(準決勝進出)

□ソフトボール部

□県高校春季大会 ①

□第46回中国高校男子選手権 出場

□県高校総体 ①

□県高校新人 ③

□バスケットボール部

□県高校総体

◇男子

1回戦=育英24-112鳥工・智頭(合同チーム参加規程により2回戦進出)▽2回戦=育英17-179鳥取西

◇女子

1回戦=育英52-90米子南

□ソフトテニス部

□県総体

男子個人=⑦山田・倉本ペア(中国大会出場権獲得)

女子個人=⑦中村・富山ペア(中国大会出場権獲得)

男子団体=③(中国大会出場権獲得)

女子団体=1回戦敗退

□中国高校選手権

男子個人=山田・倉本ペア(1回戦敗退)

女子個人=中村・富山ペア(1回戦敗退)

男子団体 1回戦=育英0-3松江高専

□バドミントン部

□県高校総体

[男子団体]育英3-1日野▽育英0-3敬愛 ベスト16

[女子団体]育英0-3米子西 ベスト16

[個人]ダブルス=大家真菜・澁谷花妃ペア(2回戦敗退)▽山下愛美・岩本千佳ペア(1回戦敗退)シングルス=大家真菜(1回戦敗退)

□野球部

□春季県大会

2回戦=育英5-4米子工▽準々決勝=育英4-9鳥取商

□第104回全国高校選手権鳥取大会

1回戦=育英15-2境総合・米子連合(6回コールド)▽2回戦=育英6-13倉吉農(7回コールド)

□秋季県大会

1回戦=育英9-10米子工

□サッカー部

□県総体

1回戦=育英2-1境港総合▽2回戦=育英0-12鳥取城北

□全国高校選手権県大会

1回戦=育英0-14境

2022年(令和4年)11月7日 月曜日 (10)

# 岩美2年ぶり鳥取育英6年連続V

## 光る1年生の成長 鳥取育英



鳥取育英は、11月5日(土)に開催された鳥取県大会で、2年ぶりとなる優勝を挙げた。決勝では、鳥取西を相手に、1年生の成長が光る活躍を見せた。

鳥取育英は、11月5日(土)に開催された鳥取県大会で、2年ぶりとなる優勝を挙げた。決勝では、鳥取西を相手に、1年生の成長が光る活躍を見せた。

◀県大会で優勝し、春高バレー6年連続出場が決定！(日本海新聞)

### 林育英高が優勝

金谷 4位、多月 7位

クライミング  
ツアーツアー  
ツアーツアー  
ツアーツアー

林、見事な復帰戦

鳥取育英高は、11月5日(土)に開催された鳥取県大会で、クライミングツアーツアー部門で優勝を挙げた。決勝では、鳥取西を相手に、林育英の活躍が光る活躍を見せた。



▲クライミングツアーツアー 倉吉大会で林選手が優勝(日本海新聞)

(10面から続き)

### 水球部

- 第73回中国五県対抗
  - 鳥取24-0鳥根▽鳥取6-11岡山▽鳥取5-15山口▽鳥取10-9広島◇P S O戦(6-5)結果3位
- 第3回高知県大会(くろしおカップ)
  - 予選リーグ 育英11-3春野水球クラブ(高知)▽育英21-0大分水球クラブ▽育英11-3尼崎北(兵庫)◇決勝トーナメント 育英12-17長浜北星(滋賀)▽育英20-7春野水球クラブ 結果3位
- 第70回中国高校選手権
  - 予選リーグ 育英21-1広島学院コールド▽育英21-0江津(鳥根)コールド▽育英19-13修道(広島)◇決勝トーナメント 育英11-18西京(山口)▽育英11-10修道 結果3位
- 第15回全日本ユース(U15-桃太郎カップ-中国地域予選(選抜チームで出場)
  - 鳥取県12-1鳥根県▽鳥取県8-5広島県▽鳥取県2-10山口県 結果2位 [女子](選抜チームで出場。OGも出場。学校単独ではありません)
- 第73回中国五県対抗
  - 鳥取県5-18山口県
- 第77回国体中国ブロック
  - リーグ戦 鳥取県6-18山口県 結果2位

### バレーボール部

- ◇男子
- 県高校選手権
  - 1回戦=育英2-0岩美▽2回戦=育英2-0鳥取西▽決勝リーグ=育英2-0鳥取東▽育英2-0鳥取商 ◇決勝=育英2(25-16、20-25、25-18)1米子工 ※2年連続4回目の優勝
- 中国高校選手権(中止)
- 県高校総体
  - 2回戦=育英2-0青谷▽準々決勝

- =育英2-0米子西▽準決勝=育英2-0鳥取商◇決勝=育英0(22-25、27-29)2鳥取工 ※準優勝
- 第21回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会
  - 予選グループ戦=育英(森田・森脇)28-0熊本(棄権)▽育英(森田・森脇)28-23山形 決勝トーナメント 1回戦=育英(森田・森脇)21-28愛媛
- 第7回全国高体育科・コーススポーツ大会 ⑦
- 第77回国体ビーチバレーボール
  - 1回戦=(森田・森脇)2-0栃木▽2回戦=(森田・森脇)2-1石川▽3回戦=(森田・森脇)0-2福島 ※ベスト16
- 全日本高校バレー県大会
  - ◇決勝=育英3(25-20、25-20、25-16)0鳥取工 ※6年連続6度目の優勝
- ◇女子
- 県高校選手権
  - 1回戦=育英2-0境▽2回戦=育英0-2鳥取城北▽敗者復活戦=育英0-2鳥取商 ※ベスト8
- 県高校総体
  - 2回戦=育英2-0境総合▽準々決勝=育英0-2米子西 ※ベスト8

### レスリング部

- 県高校総体
- ◇学校対抗戦①
- ◇個人対抗戦 ◇51kg級=①小竹良実▽55kg級=①堀本健斗▽60kg級=①朝倉理輝▽65kg級=②磯江大地③松原優吾▽71kg級=①和湯瑛希▽80kg級=①松村康平▽92kg級=①芝光琉
- 全国高校総体
- ◇学校対抗戦 育英1-6鹿屋中央
- ◇個人対抗戦
  - ▽個人対抗戦 ▽51kg級=小竹良実(2回戦敗退)▽55kg級=堀本健斗(同)▽60kg級=朝倉理輝(1回戦敗退)▽71kg級=和湯瑛希(同)▽80kg級=松村康平(同)▽92kg級=芝光琉(2回戦敗退)

- 全国高校生グレコローマン選手権
  - 4名出場
- 国体
- ◇フリースタイル
  - ▽51kg級=小竹良実(1回戦敗退)▽80kg級=松村康平(同)▽92kg級=芝光琉(同)
- ◇グレコローマンスタイル
  - ▽55kg級=堀本健斗(1回戦敗退)▽60kg級=朝倉理輝(同)▽71kg級=和湯瑛希(同)

### 山岳部

- 第4回スピードジャパンカップ
  - 女子スピード=②林かりん⑥多月萌々菜
- 第2回スピードユース日本選手権
  - 女子ユースA=①林かりん⑤多月萌々菜
- 国体スポーツクライミング競技県代表選手選考大会
  - 女子リード・ボルダリング=①林かりん④多月萌々菜
- トットリスピードカップ2022
  - スピード女子カテゴリ①=④多月萌々菜
- スピードワールドカップ第1戦(韓国)
  - 女子スピード=②⑩林かりん
- スピードワールドカップ第2戦(アメリカ)
  - 女子スピード=⑩林かりん
- スピードワールドカップ第3戦(アメリカ)
  - 女子スピード=⑩林かりん
- スポーツクライミング・ジャパンツアー・スピード第1戦(愛媛)
  - 女子スピード=③多月萌々菜
- スポーツクライミング・ジャパンツアー・スピード第2戦(倉吉)
  - 女子スピード=①林かりん⑦多月萌々菜
- スピードワールドカップ第12戦(インドネシア)
  - 女子スピード=⑥林かりん③④多月萌々菜

### 新聞部

- 第46回全国高校総合文化祭東京大会
  - 出場

### 音楽部

- 第69回県高校総合音楽会
  - 独唱・独奏・デュエットの部=山田陽果(アルトサクソフォン独奏)優良賞
- 第62回全日本吹奏楽コンクール県大会
  - 小編成部門=倉吉西・育英合同 銀賞

